

分類	2-10	教科名	家庭	科目名	家庭総合		
対象学科 (コース)	全学科			学年	2	単位数	2
指導目標	生活の現状を見つめ、課題解決に向け体験的、実践的に学習活動させ生きる力を身につけさせる。						
内容	(1) 人とかかわって生きる (2) 食生活をつくる (3) 住生活をつくる						
内容の取扱い	座学および実験、実習を行う。特に実験、実習に力を入れ、家庭生活の充実・向上を図る能力と実践力が身につくよう留意する。						
指導計画	学期	指導事項	指導内容			予定時間	
	1 学期 4～6 月	自分らしく生きる 家族とかかわって生きる	自分の適性について、ライフステージ、男女共同参画社会、家族・家庭とは、家族と法律、生活を支える仕事と生活時間について理解させる			20	
		高齢者とかかわって生きる	高齢社会の現状を理解させる 高齢者が自立するためにできることを理解させる				
		食生活をつくる	食生活を見つめ、人と食物のかかわりを理解させる				
	2 学期 7～11 月	食生活をつくる	栄養と食品のかかわりを理解させる 食品の選び方と安全性について理解させる			28	
			食生活をデザインする。 食事摂取基準と食品摂取量のめやすを理解させる				
			調理の基本を理解させる 食卓作法を理解させる				
			調理実習（調理実験を含む）を行う 実習1～4 実習5（エコクッキング）				
	3 学期 12～3 月	食生活をつくる	実習6（行事食） 今後の食生活を考え、食料自給率、輸入食品、食品の安全性について理解させる			22	
住生活をつくる		人と住まいのかかわりを理解させる 快適な住まいづくり、平面図を理解させる					
		健康的で安全な住まい環境を理解させる よりよい住生活を創造するために住生活の現状を知り住環境と地域社会を理解させる					
教科書・副教材他	家庭総合 生活に豊かさをもとめて（第一学習社）・家庭総合学習ノート（第一学習社） 家庭科トータルデータ（教育図書）						

評価規準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重
講義	◎	○			
実習への取組	○	◎	○		
提出物	○	○	◎	○	
定期考査		○	○	◎	
評価の重点	実験、実習を通して、実習する態度と意欲				